

実務翻訳における 日本語スタイルガイドの活用

『JTF日本語標準スタイルガイド』のご紹介

田中千鶴香

一般社団法人日本翻訳連盟（JTF）

理事・標準スタイルガイド検討委員会委員長

2014年2月27日 産業日本語シンポジウム

内容

- ▶ 日本翻訳連盟（JTF）の紹介
- ▶ 実務翻訳における表記統一のニーズ
- ▶ 「JTF日本語標準スタイルガイド」の紹介
 - ▶ JTFスタイルガイドの目的
 - ▶ JTFスタイルガイドの規定
- ▶ 翻訳関連の国際規格とスタイルガイド
- ▶ 「JTFスタイルチェッカー」のデモ

一般社団法人 日本翻訳連盟 (JTF)

- ▶ 翻訳に関わる企業、団体、個人の会員からなる産業翻訳の業界団体
- ▶ 翻訳者（フリーランス・企業内翻訳者）、エージェント（翻訳会社）、ソースクライアント（最終需要者）
- ▶ 翻訳事業に関する調査、研究、研修会、人材育成等の実施等を通じて、翻訳事業の振興を図り、もってわが国経済社会の発展に寄与する

日本翻訳連盟

<http://www.jtf.jp/>

一般社団法人 日本翻訳連盟 (JTF)



実務翻訳における表記統一のニーズ

ドキュメント

- 個人単位
- ドキュメント単位

翻訳プロジェクト

- 分担作業
- 翻訳メモリー（コーパス）、用語集、スタイルガイド

社内/グループ内

- 大規模な文書管理
- M&Aなどによる文書の統合

汎用的なスタイルガイドの規定

- ▶ 固有名詞
- ▶ Capitalization
- ▶ Punctuation
- ▶ 数字
- ▶ 日付と時刻
- ▶ 単位系
- ▶ 住所、電話番号、通貨など

多言語翻訳用
スタイルガイド

日本語以外の言語の
翻訳用スタイルガイド

『JTF日本語標準スタイルガイド』

- ▶ 和訳用の日本語スタイルガイド
 - ▶ 外国語から日本語への翻訳時に参照して、日本語の表記を統一するためのガイドライン
- ▶ JTF標準スタイルガイド検討委員会が作成
http://www.jtf.jp/jp/style_guide/styleguide_top.html
- ▶ 初版2012年1月30日
- ▶ 実務翻訳向け
- ▶ クリエイティブコモンズ (CC) ライセンス
 - ▶ 自由に配布、共有、改変
- ▶ 日本語版と英語版

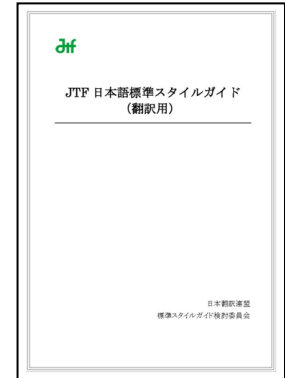
『JTF日本語標準スタイルガイド』

▶ 日本語版

『JTF日本語標準スタイルガイド（翻訳用）』

http://www.jtf.jp/jp/style_guide/pdf/jtf_style_guide.pdf

- ▶ 初版2012年1月30日、最新1.2版2013年6月30日
- ▶ 全25ページ
- ▶ CCライセンスを設定



▶ 英語版

『JTF Style Guide for Translators Working into Japanese』

http://www.jtf.jp/jp/style_guide/pdf/jtf_style_guide_e.pdf

- ▶ 日本語版のコンテンツを英語に翻訳したもの
- ▶ 初版2013年6月30日
- ▶ 全23ページ



導入事例

- ▶ 翻訳会社WIPジャパン株式会社が社内標準スタイルガイドに採用
<http://jtfjournal.homepage.com/update/id=239>
- ▶ 翻訳支援ツールIsometryの品質チェック機能にJTFスタイルガイドのルールセットを採用
<http://www.isometry-trans.com/ja/>

JTFスタイルガイドの目的

- ▶ 翻訳成果物の表記を統一する際に活用（和訳時）
 - ▶ スタイルガイドは「商品」を作るための「規格」のひとつ
- ▶ 自由な共有（CCライセンス）
 - ▶ 企業のガイドラインは大半が社外秘
 - ▶ 企業ごとに異なる表記ガイドラインの「壁」を排除
- ▶ 英語版の提供
 - ▶ 非日本語ネイティブのユーザーに日本語表記の特性を理解してもらう

クリエイティブ・コモンズ ライセンス 「表示 - 継承4.0 国際」

- 本体の全部または一部の自由な使用・複製・改変・再配布
- 本体の全部または一部を利用した二次的著作物の自由な作成や配布

条件

- 帰属を明示
- 二次的著作物に同一のクリエイティブ・コモンズ・ライセンスを設定



JTFスタイルガイドの規定

JTF 日本語標準スタイルガイドの 12 の基本ルール

1. 本文を、敬体（ですます調）あるいは常体（である調）のどちらかに統一する。

○	本文の文型を、敬体または常体のいずれかに統一します。一般読者向けのマニュアルでは、通常、敬体が使われます。	×	本文の文型を、敬体または常体のいずれかに統一する。一般読者向けのマニュアルでは、通常、敬体が使われます。	1.1 文体
---	---	---	--	--------

2. 句読点は「、」と「。」を使う。

○	これは、見本となる例です。	×	これは、見本となる例です.	1.2 句読点の使用
---	---------------	---	---------------	------------

3. 常用漢字表にある漢字を主に使用する。

○	おいしい おおむね	×	美味しい 概ね	2.1.2 漢字
---	--------------	---	------------	----------

4. 動詞の送りがなは本則に従う。

○	取り消す 引き渡す	×	取消す 引渡す	2.1.3 漢字の送りがな
---	--------------	---	------------	---------------

5. カタカナ語の語尾の長音は省略しない。

○	コンピューター ユーザー	×	コンピュータ ユーザ	2.1.6 カタカナの長音
---	-----------------	---	---------------	---------------

JTFスタイルガイドの規定

6. 長いカタカナ複合語は中黒または半角スペースで区切る。

○	グラフィック・ユーザー・インターフェイス グラフィック ユーザー インターフェイス	×	グラフィックユーザーインターフェイス	2.1.7 カタカナ複合語
---	--	---	--------------------	---------------

7. 漢字、ひらがな、カタカナは全角で表記する。

○	メールアドレス	×	メールアドレス	2.1.5 カタカナ
---	---------	---	---------	------------

8. 数字とアルファベットは半角で表記する。

○	12345、abc DEF	×	1 2 3 4 5、 a b c D E F	2.1.8 算用数字、2.1.9 アルファベット
---	---------------	---	------------------------	--------------------------

9. 原則として記号類は全角で表記する。

○	? ! : () []	×	? ! : () []	4.2 記号
---	-------------	---	---------------	--------

10. 半角文字と全角文字の間に半角スペースを入れない。

○	JTF標準	×	JTF 標準	3 文字間のスペース
---	-------	---	--------	------------

11. ピリオド (.), カンマ (,), スペースは半角で表記する。

○	785,105 12.5	×	785, 105 12. 5	4.1.3 ピリオド(), カンマ()
---	-----------------	---	-------------------	---------------------

12. 単位の表記を統一する。

○	2kg、354g	×	3 フィート、2.5m、600 グラム	5 単位の表記
---	----------	---	---------------------	---------

JTFスタイルガイドの規定（漢字の送りがな）

- ▶ 平成22年11月30日内閣告示第2号の「常用漢字表」と昭和48年6月18日内閣告示第2号「送り仮名の付け方」の「本則（例外）」に原則として準じる
- ▶ 『用字用語 新表記辞典第四版』（第一法規）を主たる参考文献とする

JTFスタイルガイドの規定（漢字の送りがな）

▶ 動詞の送りがな

- ▶ 動詞の送りがなは、上記内閣告示「送り仮名の付け方」の「本則（例外を含む）」に従います。
- ▶ 原則として、上記内閣告示「送り仮名の付け方」に「許容」として挙げられている送りがなは使用しません。 ○行~~う~~ ×行~~な~~う

▶ 名詞の送りがな

- ▶ 名詞の送りがなは「本則（例外を含む）」に従います。
- ▶ さらに原則として、「許容」として挙げられている送りがなも使用します。
○答~~え~~ ○答

▶ 複合語の送りがな

- ▶ 原則として、活用のある複合語（動詞）では送りがなを省略しません。
○書~~き~~込~~む~~ ×書~~込~~む
- ▶ 活用のある複合語（動詞）から派生した名詞では送りがなを省略できます。
○取~~り~~扱~~い~~ ○取~~扱~~い ○取~~扱~~

JTFスタイルガイドの規定（カタカナ複合語） 各表記方法の特徴（JTFスタイルガイド15ページより）

▶ 中黒で区切る

例：○グラフィック・ユーザー・インターフェイス

- ▶ 語の区切りが明白
- ▶ 見た目が比較的うるさい
- ▶ 箇条書きの行頭記号（bullet）、名詞を列挙する中黒とともに使用すると紛らわしい
- ▶ 他の区切り方法に変更する場合に一括置換しやすい
- ▶ 縦書きと横書きの両方で使える
- ▶ 中黒の入れ忘れや入れ間違いによって表記が不統一になる可能性がある
- ▶ 新聞、書籍、教科書、論文などで広く使用されている

JTFスタイルガイドの規定（カタカナ複合語） 各表記方法の特徴（JTFスタイルガイド15ページより）

▶ 半角スペースで区切る

例：○グラフィック ユーザー インターフェイス

- ▶ 語の区切りが明白
- ▶ 見た目が比較的すっきり
- ▶ 他の区切り方法に変更する場合に一括置換しづらい
- ▶ 箇条書きの行頭記号（bullet）、名詞を列挙する中黒とともに使用しても紛らわしくない
- ▶ 縦書きで使えない
- ▶ 半角スペースの入れ忘れや入れ間違いによって表記が不統一になる可能性がある
- ▶ IT分野のマニュアルで主に使用されている

JTFスタイルガイドの規定（カタカナ複合語）

各表記方法の特徴（JTFスタイルガイド15ページより）

▶ 何も挿入しない

例：×グラフィックユーザーインターフェイス

- ▶ 語の区切りが不明瞭
- ▶ 見た目が比較的すっきり
- ▶ 縦書きと横書きの両方で使える
- ▶ 他の区切り方法に変更する場合に一括置換しづらい
- ▶ 箇条書きの行頭記号（bullet）、名詞を列挙する中黒とともに使用しても紛らわしくない
- ▶ 縦書きと横書きの両方で使える
- ▶ もともと区切りがないため、区切りの入れ忘れや入れ間違いがない
- ▶ 新聞、雑誌、書籍などで広く使用されている
- ▶ 語に区切りがないために機械翻訳時に未知語を判定しづらい

表記の不統一と翻訳成果物の品質

- ▶ 商品としての品質の低下
- ▶ 用語管理への影響
- ▶ 翻訳メモリーの利用効率への影響
- ▶ 後工程での修正が困難



ドキュメント

翻訳プロジェクト

社内/グループ内

翻訳関連の国際規格とスタイルガイド

- ▶ ISO/TS 11669 Translation Projects - General Guideline
 - ▶ 翻訳プロジェクトに関するガイドライン文書（発行済み）
 - ▶ 翻訳プロジェクトに関連する用語、役割、タスク、環境、関係性を定めたガイドライン
 - ▶ 目的は、翻訳プロジェクトに対する翻訳者・翻訳会社・クライアント間の共通認識を促すこと
 - ▶ 認証規格ではない

翻訳関連の国際規格とスタイルガイド

- ▶ ISO/TS 11669における“style guide”
 - ▶ 翻訳プロジェクトで使用するスタイルガイドを発注側が用意する
 - ▶ ソースコンテンツの作成時に使われた（ソース言語側の）スタイルガイドも提供する
 - ▶ 発注側がスタイルガイドを用意できないときはTSP（翻訳サービスプロバイダー）がスタイルガイドを用意する
 - ▶ 発注側は、翻訳プロジェクトにおける文章スタイルの意義を明確にする

翻訳関連の国際規格とスタイルガイド

▶ ISO/DIS 17100

Translation Services — Requirements for translation services

- ▶ 認証規格
- ▶ 翻訳サービスプロバイダーが従うべき翻訳プロセス全般の要件を定義
- ▶ 現在最終ドラフトの検討中

翻訳関連の国際規格とスタイルガイド

- ▶ ISO/DIS 17100における“style guide”
 - ▶ “set of editing and formatting instructions”
 - ▶ スタイルガイドへの準拠は翻訳プロジェクトのLinguistic Specificationsのひとつ
 - ▶ クライアントのスタイルガイドが提供された場合、TSP（翻訳サービスプロバイダー）は必ずそれを使用する
 - ▶ TSPはスタイルに関する一連のルールを用意する
 - ▶ TranslatorとReviserは、専用またはクライアントのスタイルガイドを遵守する
 - ▶ 翻訳プロジェクトの準備段階で、翻訳メモリー、用語集などのリソースとともにスタイルガイドを用意する

まとめ

- ▶ 実務翻訳において「スタイルガイドの使用」はプロジェクト要件のひとつ
- ▶ 自由に利用できる日本語スタイルガイドとして「JTFスタイルガイド」を作成
- ▶ 非日本語ネイティブ向けの英語版を用意
- ▶ 専用チェックツールを用意

JTFスタイルチェッカーのデモ

http://www.jtf.jp/jp/style_guide/jtfstylechecker.html